



平成 21 年 5 月 8 日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 執行役員財務経理部長 筒井 俊光
電話 03-6803-3970

平成21年3月期（連結・個別）業績予想の修正、
並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期決算において、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 10 月 30 日付当社「平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正すると共に特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	17,000	400	250	70
今回修正 (B)	16,403	607	544	3
増減額 (B - A)	△597	207	294	△67
増減率	△3.5%	51.8%	117.6%	△95.7%

(2) 修正の理由

売上高につきましては、概ね前回予想通りの 16,403 百万円となる見込みであります。
利益につきましては、下期以降、移動体通信事業における店舗オペレーション合理化の効果が現れたこと及びネットビジネス事業において韓国企業向けビジネスによる収益が当初の見込みより増加したこと等により利益率の向上がみられ、営業利益は前回予想比 207 百万円増の 607 百万円、経常利益は前回予想比 294 百万円増の 544 百万円となる見込みであります。

しかしながら、当期純利益につきましては、債権に対する貸倒引当金繰入額及び投資有価証券評価損等の特別損失約 372 百万円の計上により、前回予想比 67 百万円減の 3 百万円となる見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	22,742	688	588	40

2. 平成 21 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想 (A)	14,000	260	250	80
今回修正 (B)	13,505	296	314	△86
増減額 (B - A)	△495	36	64	△166
増減率	△3.5%	13.8%	25.6%	—

(2) 修正の理由

売上高につきましては、概ね前回予想通りの 13,505 百万円となる見込みであります。
利益につきましては、移動体通信事業における店舗オペレーション合理化の効果が現れたこと
によって利益率の向上がみられ、営業利益は前回予想比 36 百万円増の 296 百万円、経常利益は前
回予想比 64 百万円増の 314 百万円となる見込みであります。

しかしながら、当期純利益につきましては、債権に対する貸倒引当金繰入額及び投資損失引当
金繰入額等の特別損失約 427 百万円の計上により、前回予想比 166 百万円減の△86 百万円とな
る見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	20,308	509	496	△209

3. 特別損失の計上

平成 21 年 3 月期において下記の通り計上いたします。

(1) 連結決算

金融環境の悪化等の影響を受けて、債権に対する貸倒引当金繰入額約 328 百万円、投資有価
証券の再評価による投資有価証券評価損約 10 百万円等の合計約 372 百万円を特別損失に計上
いたします。

(2) 個別決算

金融環境の悪化等の影響を受けて、債権に対する貸倒引当金繰入額約 303 百万円、当社連結子会社ならびに関連会社に対する投資損失引当金繰入額約 112 百万円等の合計約 427 百万円を特別損失に計上いたします。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上